

渡邊國武

（明治）

政治家。弘化二年二月十九日信濃國生れ、大正八年

五月十一日歿（八四—一九一九）。舊姓小池。號無邊、機外劍客、また武、

源國武、無邊沃庫、無邊國武、無邊居士、無邊真逸、邊無邊とも号す。

伊那出仕から大藏省に入り、高知縣令、福岡縣令、大藏次官を経て、

明治二十五年藏相。二十三年より憲政友會創立委員長。子爵。漢詩も長

じ、更に兄渡邊千秋と共に家内の句會村子會と設けて句作も爲した。

著書に『印度哲學小史』（明治二十一年十月哲學書院）、『機外劍客』

（明治二十一年十一月十九日鴻盟社）、『無邊別話』一名機外劍客雜

著八種』（明治二十五年十一月十四日鐵華書院）、千秋共著『楓淵無邊』

茶寮句二色評』（甘田卯一郎編、内題「茶寮句兄弟二色評」明治四

十四年八月八日好文堂）等。